

生涯にわたって
社会のいたるところで学ぶための方法序説

多様なきっかけから実践へ

～中央区「区民メディアリポーターになろう！」講座の開講から～

安西 春樹

提案・学習講座をきっかけに、ご自身のライフワークのテーマを見つけてみませんか。

はじめに

ボランティア活動や地域活動を始めるきっかけは、人により多様ですが、なかなか自分一人では始めようとしても、何から手を付ければ良いか迷ってしまいます。

特に自身のテーマを探しつつ一歩を踏み出す場合には、自分一人では、にわか迷子になりかねません。そんな時、入口として皆さんのお住いの自治体等で実施している生涯学習講座を受講するのも一つの方法ではないでしょうか。

自身のテーマ||ライフワークを探すことは、自分探してもあります。生涯学習講座を担当していると思うことは、自分探しに必要なのは、多くの他者との関わりだと感じています。周囲と

の対話と経験の共有の中に沢山の自分探しのヒントがあるはずです。

学習講座には温度の差こそあれ、自分と似通った志の方が多数参加することでしょう。他者との交流と学びの中で、ご自身のテーマを探し始めてはいかがでしょうか。

中央区民カレッジ生涯学習サポーター養成コース「区民メディアリポーターになろう！」講座

さて、この連載の中でも度々紹介をさせていただいている通り、中央区では、生涯学習講座として中央区民カレッジを開催しています。生涯学習の入口として、さらには地域に一歩踏み出すきっかけとして、様々なジャンル・テーマの学習講座を実施しています。

今回は、その中でも「学んだことを地域にいかす」を目標にしている生涯学習サポーター養成コースで今年度5月より開講した「区民メディアリポーター

になろう！」講座を紹介いたします。この講座は、平成24年度、29年度に開講して、今回で3期目の実施となります。

すでに第1期、2期の修了生が自主的な会を運営し、約10年活動を続けてきました。

本連載の2022年4月号にも現役メンバーとの座談会の記事を掲載しておりますが、地域のヒト・モノ・コトを区民目線で映像作品にし、地域情報を発信するボランティア活動を目指すことが主旨となります。主に静止画にナレーションを付ける手法で制作した映像作品は、地域のケーブルテレビ局「東京ベイネットワーク株式会社」の協力を得て、月ごとに作品を入れ替え、現在1日2回の放映を行っています。また放送後の作品の一部は、中央区区民メディアリポーターの会のブログ、Facebook、YouTubeチャンネルで視聴できるよう発信をしています。



中央区区民メディアリポーターの会のブログ

令和6年度は年間14回の講座を企画し、16名の受講生でスタートしました。講座は、現在3回を終え、これから実際のメディア作品づくりを進めていきます。16名それぞれ

それぞれがメディア作品の制作を通して、自身のテーマを探す学びの場となることでしょう。講座初回 5月の第1回では、これまで

の中央区区民メディアリポーターの活動を紹介し、約200本の作品リストをみながら、いくつかの作品を実際に視聴する上映会を行いました。受講者の中には作品を見るのは

初めてという方もいらっしゃいましたが、これから制作する立場になつての視聴ということ、真剣に6作品を視聴しました。途中、実際に制作した中央区区民メディアリポーターの会会員から、取材や編集の仕方、制作にあたって苦労した点などを所々で話していただき、また講座の講師として出席いただいている東京ベイネットワーク株式会社の中島紀志さんから、制作技術面での案内、制作裏話などを交えて、和やかに進んでいきました。

受講生にはひと作品を見るごとに率直な感想をメモしてもらい、最後に質問と全体的な感想を共有しました。感想の中には、

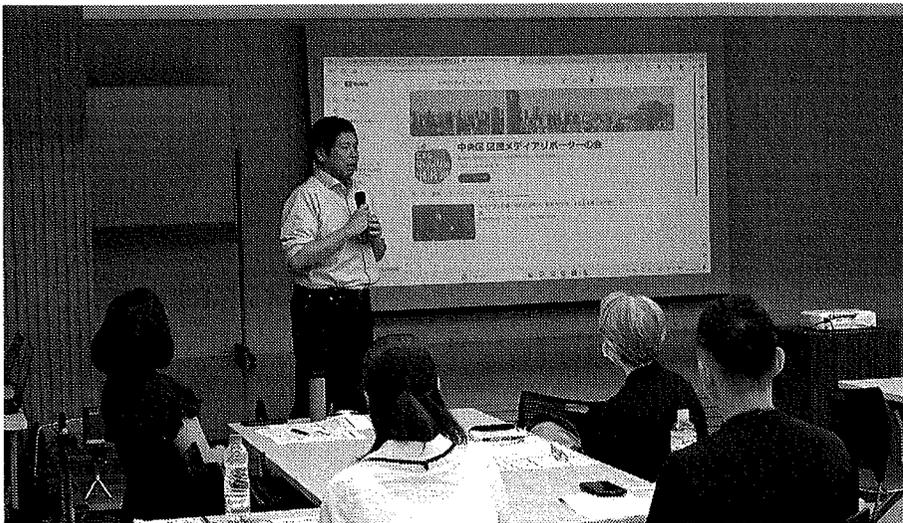
- ・ 静止画にナレーションをつける手法はゆつたりとしていた。
- ・ とてもまとまっていて、驚いた。
- ・ 静止画でも情報量が充分。
- ・ 動画と静止画のミックスも良い。

区民メディアリポーターになろう！
2024年度 中央区民カレッジ 生涯学習サポーター養成コース
区民メディアリポーターになろう！
【申し込み・問い合わせ】中央区区民文化・生涯学習課生涯学習係
〒104-8404 中央区築地1-1-1
TEL:03-3646-5524, 6625, 5526(受付時間:平日午前9時～午後5時)

〈2024年度 チラシ裏〉

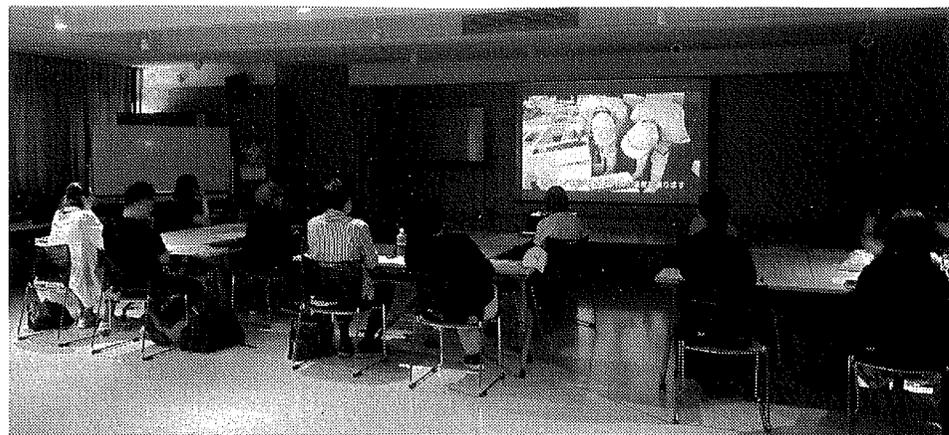
2024年度 中央区民カレッジ 生涯学習サポーター養成コース
区民メディアリポーターになろう！
【申し込み・問い合わせ】中央区区民文化・生涯学習課生涯学習係
〒104-8404 中央区築地1-1-1
TEL:03-3646-5524, 6625, 5526(受付時間:平日午前9時～午後5時)

〈2024年度 チラシ表〉



〈写真：第1回の様子〉

・街の空気が伝わってくる作品だった。
 ・中央区民にとつての身近な景色を違う角度で見られて良い。などのほか、



《写真：第1回の様子》

マホ所持率は半分ほどの受講生で、慣れないiPadを駆使し、2年間の講習で作品づくりを行



《写真：第3回の様子》

・一つの作品ができるまでの流れや苦勞がよくわかったという時に自分にできるのかという不安を感じた。
 ・映り込みの人たちの肖像権、同意？が気になった。
 ・ヒトを取材対象にするのが難しいと感じた。
 と、今後の制作側に回つての疑問や不安も出て、狙い通りに「考え、議論し、解決へ向かう」下地ができた回となりました。

講座第2回、第3回

6月の第2回は、受講生同士の自己紹介と試作作品としてのグループ制作「メンバー紹介」へ取り掛かりました。
 1回目の上映会のメモを共有しての振り返りを行い、お住いの地区ごとに分かれて自己紹介。グループの代表者がメンバーの紹介をして全体での共有、発表を聞いて気になったところへの質問タイムと進めていきました。
 さまざまな機会に自己紹介をする場面は多々ありますが、と

かく自分の番が回ってくるまでは自分の話すことばかりが気になり他の方の紹介を聞き流してしまいがちです。
 そうならないように3つのグループ分けをして、各グループで1周回つた後に他グループへのメンバー紹介の仕方を協議してもらいました。また2週目では、より個々を知るための「話を引き出す質問」を意識しての話し合いを行いました。

これから実践する取材ナレーション作品づくりを意識して、他者の話を引き出すこと、また様々なジャンルに興味・関心を持つこと、情報をわかりやすく正確に伝えること、何より活動(ワーク)を自身で楽しむことを念頭に置いてのグループワークが行えたかと思えます。

自己紹介のワークをきっかけに、「聴くことの楽しさ」と「発信する楽しさ」を体感し、映像作品制作の原点を確認し合った回となりました。
 第3回目は、各自が自身の

市民による情報発信の意義を活かす実践の中で学び続けていくことも課題のひとつです。

多様な「きっかけ」から学びの実践へ

今回の参加者の中に、中央区民カレッジの講座を今までに約100講座以上受講してきたという方がいました。

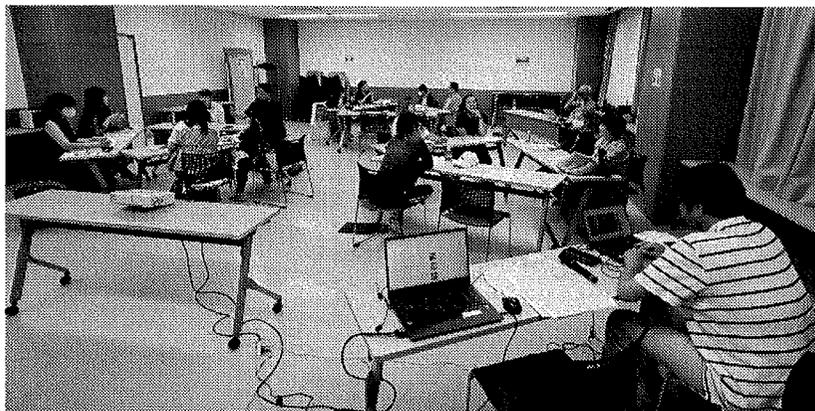
色々なものに参加したのは「自分の好きを見つける」ためだと話されていました。中にはどうしても合わずに、1、2回で諦めた講座もあったようですが、さほど興味のないジャンルでも、実際に触れてみると、心地よかったり、楽しいものもあったとのこと。

そして、いくつもの講座受講をきっかけに、サークルの立ち上げや、ボランティア活動を始めたそうです。まさに区の実施する生涯学習事業の目的をそっくりそのまま実践されている方でした。

今回紹介した「区民メディアリ

自己紹介の素材としての画像を持ち寄り、グループで構成を考え、ナレーション原稿を作っていきます。

グループ制作「メンバー紹介」は、8月に完成試写会を目指して進んでいます。
 平成24年の講座では、まだス



《写真：第2回の様子》

ポーターになろう！」講座だけでなく、中央区民カレッジは、各種の学習講座を学びのきっかけづくりのために開催しています。

講座の中で得るものは、知識の吸収だけでなく、他者との交流で気づく「自分自身を知る」ことだと思えます。今回のメディア講座でも、もうすでに受講生同士の交流と刺激の受け渡しは始まっています。これから一つひとつの実践の中でも、さらに深めていけるような講座づくりを画策していきます。

読者の皆様も、多様なきっかけから広がる自身の学びを見つけてはいかがでしょうか。

次回9月号は、東京都荒川区中泉さんより生涯学習のヒントをお届けします。

安西春樹
 (あんざい・はるき)
 中央区区民部文化・生涯学習課
 総括生涯学習指導員